



拜陳此度鄭家屯ノ事
變ニ就イテハ定テ御配慮
ノ儀ト奉存候ガ愚意ヲ
以テスレバ帝國ガ舊ニ仍ツテ
滿洲ヲ所謂ナク殺ノ状
態ニ置ク以上支那ノ國
民性トシテ此ノ如キ事ハ
固リ當然ト可申過去ニ
於テ已ニ然リ將來ニ於テ
モ亦必ズ然ルベシ從來斯
ル場合毎ニ謝罪賠償
若シクハ保證ヲ以テ其局
ヲ了シタルモ毫モ效ヲ後
日ニ及サズシテ頻ニ同一
凶状ヲ重複シ復タ今回
ノ舉アルニ至リタルハ明白ナ



亾状ヲ重複シ復タ今回
ノ舉アルニ至リタルハ明白ナ
ル實例ニ無之候ヤ順良
ナル臣民ヲシテ屢バ劣等
國暴吏ノ毒手ニ斃レシ
メテ之ガ所ヲ為サバハ王
者ノ政ニ非ズ縱令國家
ガ此ニ因ツテ多少ノ利權
ヲ伸張スルユトアリトスルモ
死者何ノ罪カアル抑モ帝
國ノ威力ヲ確立シ此ノ如
キ禍ヲ根絶スルノ途ハ租
借ヲ斷行スルカ不肖等ノ
宿論ナル獨立ノ形式ヲ取
ルカニ在ルノミト存候若シ
然ラズシテ從來内閣ノ尤
ニ倣ツテ姑息ノ手段ヲ被

キ禍ヲ根絶スルノ途ハ租
借ヲ断行スルカ不肖等ノ
宿論ナル獨立ノ形式ヲ取
ルカニ在ルノミト存候若シ
然ラズシテ從來内閣ノ尤
ニ倣ツテ姑息ノ手段ヲ被
採後日再發ノ事アラハ
閣下ノ御責ト相成可申
候偏ニ御賢慮ヲ奉仰小生
療病中面陳ヲ不得茲ニ
書状ヲ以テ微衷ヲ吐露
仕候恐惶謹言

大正五年八月十八日

松平康國

大隈侯爵閣下

療病中面陳ヲ不得茲
書狀ヲ以テ微衷ヲ吐露
仕候恐惶謹言

大正五年八月十八日

松平康國

大隈侯爵閣下

八月十八日

織



在日光湯本

松平康國

東京牛込早稻田

大隈侯爵閣下



親展